

くるくる明舞相談窓口事業(くるくる明舞運営委員会)

課題と目的	兵庫県明石市と神戸市の境に位置する明舞団地をフィールドに、多様化するライフスタイル、ライフステージによって異なる住まい方に対して包括的な支援を行う相談窓口を置き、地域の「安全で安心な無理のない住み替え」と「豊かな住まい方」の実現を目指す。
取組内容	①コーディネーターの育成②事業構造の構築 ③相談窓口の設置(専門家とのマッチング) ④空き家活用相談・提案 ⑤住み続ける支援 ⑥若年世帯にマッチング ⑦ホームページの構築 ⑧相談内容のデータベース化
成果	①コーディネーターの発掘 ②コーディネーター育成のための勉強会の開催③コーディネーター育成マニュアルのタキ作成(勉強会の内容を整理)④相談窓口の拡充⑤ホームページやフェイスブックなどでの広報 ⑥各種事業者の拡充

くるくる明舞の特色

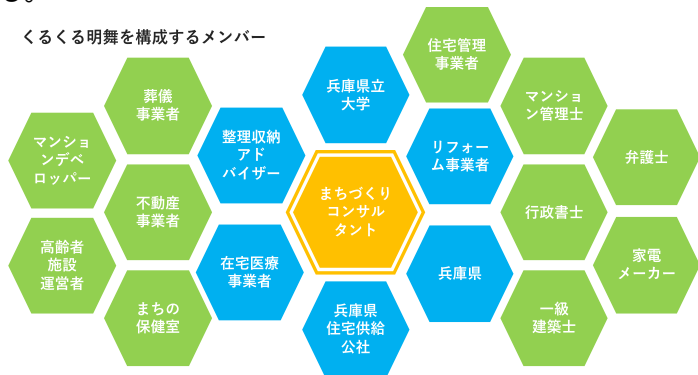
・持続可能な事業構造と収益構造についての検討

パートナー制(年会費)で会員登録し、マッチングし仕事になった場合、事業者から成果報酬をもらう仕組みを検討している。

・多業種で構成されるメンバー

この事業は空き家問題を、地域の問題として包括的に捉えることを特徴としている。まちづくり、住宅管理や在宅医療、終活など、空き家問題と関連して起こっている諸問題に関わる、地域の多様な専門家で構成されている。

くるくる明舞を構成するメンバー



・住まいのなんでも相談窓口

窓口を常設し、コーディネーターを配置。相談者の悩みの整理と優先順位づけを行い、悩みに適当な専門家とのマッチングを行って解決につなげている。



・若年層と空き家のマッチング、新たな活用支援

- (1)子育て世帯が空き家に転居し、コミュニティガーデンを計画
- (2)集合住宅の寄贈の話があり、今後活用を検討予定
- (3)行政へ寄贈したい空き地があり、行政も受け取れないこともあり、くるくる明舞で授与し、防災空地として活用予定

・暮らし向上塾の開催

「住まいと暮らしの向上」をコンセプトに勉強会を実施した。内容としては、各回テーマを設定し専門家による講演を行った。一般の受講生を募集し、関心のある地域住民や学生が受講した。

【各回のテーマ】

- | | |
|-----|--------------|
| 第1回 | 不動産売買・住宅維持管理 |
| 第2回 | リノベーション・整理収納 |
| 第3回 | 高齢者施設・成年後見人 |
| 第4回 | 遺贈・遺産相続・終活 |

